

東京都女性経営者実態調査 調査結果・考察（サマリー）

目的・方法

調査目的：ビジネス分野における女性活躍の気運を一層盛り上げ、都内産業の活性化を図るため、女性経営者の課題や今後必要とされる施策等を可視化し、「女性経営者等活躍促進事業」において具体的な支援策を提供するための一助とする。

調査対象：「東京都女性経営者」に登録している女性経営者会員【会員数：1,360名 有効回答数：113件（都内：110件 都外：3件）】

調査方法：メールにてアンケートを送付し、調査画面にて無記名で回答

調査項目：①回答者の属性 ②経営状況 ③資金調達 ④経営上の課題や必要な支援 ⑤女性経営者登録会員向けに必要なサービス

調査期間：令和5年12月28日（木曜日）から令和6年1月31日（水曜日）まで

結果

【回答者の属性】

- 2014年以降に創業した事業者が6割以上。株式会社、個人事業主の順に多い。
- 売上規模は1億円未満が約7割。従業員数が5人までの事業者は6割以上。
- 業種は、サービス業が最も多い。また全体の約7割は一人で起業した事業者。

【経営状況】

- 売上高1億円未満の事業者の約85%が雇用者数が5人以下。
- コロナ禍による「悪い影響」があった事業者が約半数。直近1年間での賃金の変動は「ダウンした」よりも「アップした」という回答が多い。

【資金調達】

- 借入を行っていないとした回答は約半数。金融機関からの借入額は1,000万円未満で6割以上を占め、その大半が売上1億円未満の事業者。
- 借入しない理由は「必要ない」「融資を受けてまで拡大しようと思わない」の順が多い。
- 投資を受けていないとした回答は9割以上。「投資を受けたい」又は「申請中・検討中」という回答も8割以上あり、関心があるもののハードルは高い。

【事業をスケールアップさせるための当面の課題や必要な支援】

- 経営の成長には売上規模問わず、販路拡大を課題とする回答が多い。海外進出への一定の関心も確認された。
- 成長に必要な支援では、ネットワーキングや資金調達に関する要望が依然として多い。
- 家庭との両立や女性のライフプランの支援への要望も目立った。

【女性経営者登録会員向けに必要なサービス】

- 「情報の充実化」を求める声が多数。

考察

以下、2点の検討課題が判明した。

1 ビジネス拡大および資金調達のノウハウ不足

- ・小規模事業者も事業拡大や資金調達へのニーズがある。
- ・海外進出のニーズも一定程度ある。
- ・事業拡大への意欲はあるが、情報や知識不足が行動を制限している。

【対策】

- ・気軽に専門家等に相談できる場の充実。
- ・海外展開のためのロールモデルやノウハウの発信。
- ・資金調達に関する情報やマッチング機会の拡充。

2 ネットワークやマッチング機会の不足

- ・ネットワークの機会がまだまだ不足している。
- ・ネットワーキングにかかる時間とリソースの制約による要因もある。

【対策】

- ・ネットワークやマッチング機会促進に向けた女性経営者情報の発信強化。
- ・インタラクティブな悩み相談の場を充実。